

～アイデアをカタチに モノづくりデザイン～

府中天満屋 2 階をリノベーションで賑わいづくり

府中天満屋 2 階の一部を無償で市に寄附され、市が賑わいの拠点となるリノベーションを行っています。

“選ばれる府中市”となっていくには、内外からさまざまな人や投資を呼び込み、顔となる府中駅周辺の賑わいの再生は重要な課題です。しかし、現状は、まちなか全体、駅周辺部において、日中も夜も人通りが少なく、回遊滞留が少ない状況にあります。府中市総合計画、グランドデザインなどの中にも記載してあるとおり、これからのまちの発展を考えた時、「行ってみたい」「楽しい」と思い、いわばそれ自体が目的地となる拠点が、まちなかや駅周辺部に必要であると考えています。

玄関口になる府中天満屋 2 階から賑わいを市内全域に

「若者」「女性」「子育て層」をメインターゲットにしつつも、幅広い世代が目的地とし、常時人が集まることで、人が人を呼び、新たなビジネスや連携を発生させる。また、産業分野が集う「ものづくりのまち」の立地特性によるワークショップやコワーキングスペース、好奇心をくすぐるブックカフェやワークショップなど、導入する機能は、府中市らしさ、府中市ならではのここにしかないものや、これまで府中市になかった新しい発想も検討しています。

まずは 1 期を整備し、2 期整備は皆さんで使いながら育てていく部分も！

◎ 1 期整備予定

▽子育てステーション（府中版ネウボラ）…子育てイベントや子育て相談、母子手帳の交付など、休日でも利用できる窓口を設置します。保健師、保育士、専門相談員を設置し、商業施設内の利点を活かした家族で気軽に立ち寄れる場所とします。

▽自分時間を演出する都市公園をイメージした屋内広場…センターに木漏れ日をイメージしたシンボリックなツリーを設置し、多くの世代がくつろいだり、天候や気温に左右されることなく、安心して集まれる場、そして、チャレンジショップやイベント、交流などが生まれる場となります。都市公園をイメージした屋内空間は、全国でも珍しく、まさに、目的地として多くの人が集う場がまちなかに出現します。

▽キャリア 5 G + W i - F i 整備…行政エリアを網羅した 5 G 環境により、世界とつながり、映像やコンサートなどデジタルコンテンツを整備していきます。

第 1 回天満屋活用検討委員会を開催しました（10月30日）

主な意見

▽消費構造が物を買うことから、サービスを買う消費への変化へ。さらに、時間を有意義に消費することも重要視すること。

▽天満屋だけを点で捉えるのではなく、市全体を面とした考えが必要です。

▽地産地消で地元のものを使ったカフェ・レストランを置いてはどうか。

▽子育て中のママさんの自己実現の場になり、ここに来れば、知り、学び、意識が 開拓され、ステップアップできる場に。

▽子どもを温かく見守れる場で、安心して遊ばせることができる環境に。

▽利用される市民の皆さんへの情報発信が重要。オープン前から関心を持ってもらえるように。

多目的スペース
さまざまな用途が可能な多目的スペース。会議室、サテライトオフィス、テレビ会議など

2 期整備を検討
コワーキングスペース

2 期整備を検討
飲食スペース

飲食機能
レストランや屋内キッチンカーなど、食事時間を楽しむ場所に。

府中版ネウボラ
妊娠・出産・子育てに関する総合ワンストップ窓口を設置し、気軽に立ち寄れるイベントや休日の開設により、働く保護者への支援を充実

子育てステーション

5G環境整備
行政エリアを網羅した 5 G 環境の整備（デジタルコンテンツの活用、コワーキングなどを検討）

5 G 環境

通路と照明
通路はベビーカーも通れるゆとりをとり、エリア全体を屋外で感じられるような自然光の照明を採用

くつろぎ空間
センターに、シンボリックツリーを設置し、屋外にしながら自然の中でくつろいでいる雰囲気演出し、天候の影響も受けないので、それぞれの世代の活動時間には、常に人で賑わっている場所となります。来客を見込んだチャレンジショップの開店も可能になります。

現時点での検討案であり、今後毎月の広報紙で、活用の進捗をお伝えしていきます。

問い合わせ先 商工労働課（Tel 4 3 - 7 1 9 0）